

2025年(令和7年)

町田の文化

会報33号



《瑠璃地紅彩金彩天使図カップ&ソーサー》

フランス・セーヴル 1754年

町田市立博物館 河原勝洋コレクション

一般社団法人
町田市文化協会

(一社)町田市文化協会 会報第33号 も く じ

表紙 陶磁器 セーヴル	題字 平野南秋
ご挨拶	町田市立博物館蔵
ごあいさつ	(一社)町田市文化協会 会長 高野 宗佳 …… 1
ごあいさつ	町田市長 石阪 丈一 …… 2
ごあいさつ	町田市議会議長 木目田英男 …… 3
ごあいさつ	町田市教育委員会 教育長 小池 慎一郎 …… 3
時間を楽しめる町田	衆議院議員 伊藤しゅんすけ… 4
芸術文化で躍動する町田に	前東京都議会議員 小磯 善彦 …… 5
ご挨拶	(一財)町田市文化・国際交流財団 理事長 高橋 豊 …… 5
文化活動と健康寿命の最前線に向けて	(学)町田デザイン&建築専門学校 理事長 井上 博行 …… 6
ごあいさつ	町田商工会議所 会頭 澤井 宏行 …… 7
人生100年と言われるなかで	株式会社グレースコーポレーション・ジャパン代表取締役 中村 恵 …… 8
自然の美と共に	国際ソロプチミスト町田 会長 山口美知子 …… 8
茶道の心とともに	町田市議会議員茶道部 部長 若林 章喜 …… 9
令和6年度文部科学大臣表彰の栄誉に浴して	(一社)町田市文化協会 常任顧問 新井 吼優 …… 10
お辞儀の奥深さ一角度で変わる敬意	(一社)町田市文化協会 常任顧問 大西 宣也 …… 10
町田茶道会創立六十周年茶会を終えて	町田茶道会 裏千家名誉師範 金子 宗恵 …… 11
漢詩の美しい表現について	町田市吟詠連盟 理事長 竹井 鶴迢 …… 11
第五十回記念町田市民美術展を終えて	町田市書道連盟 会長 宮本 博志 …… 12
記念すべき第50回	町田市美術協会 会長 岡島 節子 …… 12
〈特集 この道を歩み始めたころ〉	
一つの柱〜「禅定」の茶の湯	町田茶道会 裏千家 理事 青木 宗裕 …… 14
花を愛でて	町田華道協会 副会長 飯田 青葩 …… 15
【寄稿1】	
新たな試み、そして新たな仲間をご紹介します	町田市立国際工芸美術館(仮) 館長 伊藤 嘉章 …… 16
ごあいさつ	町田市立国際版画美術館 館長 大久保純一 …… 16
【寄稿2】	
就任のご挨拶	(一財)町田市文化・国際交流財団町田市民ホール 館長 神蔵 重徳 …… 17
俳句はドラマ	町田市俳句連盟 会長 三遊亭らん丈 …… 18
人形文化連盟の歴史と、これから	町田市人形文化連盟 会長 松岡みゆき …… 18
フラとの出会い	東京都町田市フラ協会 会長 大野 悦子 …… 19
新任のご挨拶	町田市舞踊連合会 会長 竹峰敏旭絵 …… 19
創立43年を迎えて	町田市民謡協会 会長 志賀 叶祥 …… 20
文化を大切に作る社会に	日本アルコール物流株式会社 代表取締役社長 吉林 等 …… 20
創立40周年を迎え	NPO法人町田演劇鑑賞会 事務局長 紫桃 弘美 …… 21
情熱の舞台へーフラメンコ活動紹介	むさしのスペイン音楽協会 町田支部代表 山崎 まや …… 21
【令和6年度町田市文化功労賞受賞者の皆様】	
文化芸術功労の表彰をいただいて	岩田マンダリーノ・シンフォニカ 代表 高橋 豊 …… 22
文化功労賞を受賞して	町田華道協会 会長 鈴木 螢梢 …… 22
文化功労賞・姉妹で受賞	NPO法人町田楽友協会 土井美智代・菅谷マスミ …… 22
町田市より表彰を受けて	町田茶道会 副会長 有賀 仙陽 …… 23
二人の師との出会い	町田茶道会 理事 館山 宗春 …… 23
町田市文化芸術功労賞をいただいて	東京都町田市フラ協会 会長 大野 悦子 …… 23
町田市文化芸術功労賞を頂いて	音楽の泉 代表 斉藤恵津子 …… 24
文化功労賞を受賞して	NPO法人町田演劇鑑賞会 事務局長 紫桃 弘美 …… 24
文化芸術功労賞の受賞について	ハワイ音楽とフラを楽しむ会 高橋 惣一 …… 24
【町田市民文化祭 秋の催し 写真】	…………… 25
【町田市民文化祭 春の催し 写真】	…………… 27
【新春文化の祭典in鶴川2025 写真】	…………… 28
【令和6年度賀詞交歓会 写真】	…………… 29
【町田市民美術展 第50回記念メモリアルイベント 写真】	…………… 30
【研修旅行 川崎訪問 写真】	…………… 30
【さくらまつり2025】	…………… 31
活動記録	…………… 32
賛助会員ご芳名/ご寄付ご芳名	…………… 37
運営委員/加入団体と会員数	…………… 38
正会員	…………… 39
名誉会長・顧問・理事・監事・あとがき	…………… 40



ご挨拶

(一社)町田市文化協会 会長 高野 宗佳

「町田の文化」第33号発刊に当たりご挨拶を申し上げます。

災害地の復旧はいかばかりかと、しかし前向きに日々過ごされる現地のご様子を伺い、引き続き心を添えて参りたい思いが溢れます。また世界中の紛争地の状況には心より平和を願う昨今でございます。

さて、改めまして皆様には日頃より当協会へ様々にご協力を賜りまして誠に有難く、心よりお礼を申し上げます。

お陰様で町田市及び(一財)町田市文化・国際交流財団のご支援ご指導の下、本年4月より市民ホール内の当事務室も拡充し、名称も執務室と改称することとなり、活発に活動をさせて頂いております。役員はじめ加盟団体の皆様のご協力にも感謝一入でございます。

現在町田市は「いつでも、どこでも、だれでも、あらゆる文化芸術を楽しむまち」の実現にむけて文化芸術の振興と観光まちづくり等その環境づくりに取り組まれて、様々に企画をされています。文化協会と致しましても、関係各団体等地域の皆様、加えて加盟団体の皆さまと連携し、積極的に事業の実施に協力をさせていただきますよう心掛けて参りたいと存じております。

又「秋の市民文化祭」はじめ「市美展」春の文化祭は、以前にもまして積極的な市民の参加がみられ、この秋のキャッチフレーズは「かがやく未来へ」と文化の継承を若者に繋ぐよう念じております。とりわけ近年の春・秋文化祭では文化講演会の開催等も実施し、市民のみなさまが文化活動に関心を持ち、楽しんで頂けますよう努めております。更に鶴川地域も「新春文化の祭典」を開催致しますポプリホールを中心とし、香山園も開園となり薬師池西園の活性化等と諸々環境も整い、更なる展開も期待されるところでございます。

いずれにせよ町田市の発展を楽しみにさせて頂きつつ、「共坐白雲中」精励して参りたいと存じております。今後共相変わらずのご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます。





ごあいさつ

町田市長 石阪 丈一

町田市文化協会の皆様には、日頃から町田市の文化芸術の振興、発展にご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、2025年1月25日に鶴川香山園が、池泉回遊式庭園と書院造の建物を備えた、日本情緒と豊かな緑を楽しめる公園としてオープンしました。当日は、高野会長をはじめ会員の皆様のご協力のもと、野点が実施され、多くの来場者にお茶が振る舞われ、盛況のうちに開催することができました。こうした取組は一例ではございますが、様々な活動を通じて、文化芸術の歴史や伝統の継承に貢献いただいている会員の皆様に、改めて感謝を申し上げます。

町田市では、文化芸術を推進し、町田への愛着とまちのにぎわいにつなげるために、「(仮称)町田市文化芸術のまちづくり計画」の策定を進めています。

これからも、市民の皆様が様々な文化芸術に触れる機会を持ち、充実した時間が過ごせるよう、文化芸術の魅力溢れるまちづくりを進めてまいりますので、引き続きご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、町田市文化協会の更なるご発展と、会員の皆様のご健勝を祈念し、私からのご挨拶の言葉といたします。



REMBRANDT HOTEL
TOKYO MACHIDA

レンブラントホテル東京町田

東京都町田市原町田 3-2-9 TEL042-724-3111 (代表)

ホテル公式 SNS フォローよろしくお願いいたします。





ごあいさつ

町田市議会 議長 木目田 英男

「町田の文化」第33号の発行、心よりお慶び申し上げます。

町田市文化協会の皆様には、日頃から様々な文化活動を通じて、芸術の振興並びに市民の文化に対する意識の向上、伝統文化の発展に、大変ご貢献いただいております。

特に、毎回多くの来場者で賑わっている、市民文化祭、春・秋の催しは、多種多彩な作品を楽しめ、誰もが参加できる発表の場として位置づけられております。文字通り市民の文化祭となるよう、協会所属団体の会員の皆様と市民との結びつきをより大事にしながら開催をしていただいております。このような活動に対し、改めまして心より感謝申し上げます。

市議会といたしましても、市民の文化芸術活動の振興、文化施設の環境整備などの促進とともに、市民の笑顔があふれる魅力あるまちづくりを目指して最大限の努力をしております。

文化協会に加盟されている各団体の皆様には、ぜひ様々なご意見を町田市議会にもお寄せいただくとともに、皆様方と一緒に歩みを進めてまいりたいと思いますので、引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びといたしまして、町田市文化協会のますますのご発展と会員の皆様のご活躍をお祈り申し上げます。あいさつといたします。



ごあいさつ

町田市教育委員会 教育長 小池 慎一郎

「町田の文化」会報33号の発行を心からお喜び申し上げます。

町田市文化協会の皆様には、日頃から町田市の文化芸術振興をはじめ、学校教育及び生涯学習の分野にも多大なご協力をいただきまして、厚くお礼申し上げます。

さて、町田市教育委員会では2年目を迎えた「町田市教育プラン24-28」において「自ら学び、あなたと学び、ともに創る町田の未来」を目標として掲げております。その目標を実現するための重要な要素として、「学び続ける力」を計画の基本方針・施策に組み込む要素とし、取組を進めております。

町田市文化協会をはじめ加盟団体の皆様におかれましては、茶道体験や生け花体験など、子ども達が伝統文化に触れる機会を長年に渡り取り組んでいただいております。このような貴重な体験は、子ども達の財産となり、生涯を通じて「学び続ける力」を育むことにつながると考えております。今後も、子ども達が地域の伝統文化に親しみ、未来を創る担い手へとになれるよう、一層のご協力をお願い申し上げます。

結びに、町田市文化協会の益々のご発展と、会員の皆様の更なるご活躍を祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。



「時間を楽しめる町田」

衆議院議員 伊藤 しゅんすけ

町田市文化協会の皆様には高野会長さんを中心に、加盟団体の皆様によって町田の文化の継承と発展にご尽力頂いておりますこと、心から感謝申し上げます。

例年の市民ホール等におけるイベントにお伺いするたびに一人一人の皆さんがすばらしい技術を表現され様々な作品にもふれさせて頂いて、文化活動がどれ程お一人お一人の人生を豊かなものにしているのか実感し、感動の瞬間を楽しませて頂いています。日本には昨今年間約3600万人もの外国人が訪れています。

人気の観光スポットは「伏見稲荷大社」「奈良公園」「清水寺」「厳島神社」「白川郷」というように時代が長く守り続けて来た正しい文化だと思います。私達の町田市もまた文化と歴史のある街です。多くの方々が、町田を訪れて頂き、歴史や文化にもふれ「時間を楽しめる町」としての魅力もアピールできたらと思います。

町田の更なる文化発展と「時間を楽しめる、まちづくり」地道な活動を通じて豊かな生活を享受できるように、皆様の活躍の場が広がるようご祈念申し上げます。



町田銘菓 大地沢の路

御菓子司
明月堂

自家製造

東京都町田市相原町 1234-5
Tel : 042-772-6948
Mail : meigetu@zf7.so-net.ne.jp



「芸術文化で躍動する町田に」

前東京都議会議員 小磯 善彦

6期24年間都議会議員を務めさせて頂き、この夏、無事卒業する事になりました。これまで交流して頂いた高野宗佳会長をはじめ町田市文化協会の皆様には心から感謝申し上げます。

様々な文化団体による市民文化祭には、毎年欠かさず出席し、茶道、華道、書道、音楽、絵画、舞踊、ダンスなど多様な文化に触れて市民の無限の可能性に感動し、参加型の催しに貴重な体験をさせて頂きました。

東京都では、東京2020大会や、コロナ禍での支援事業を経て、そこで得た経験やレガシーを発展させるため、「東京文化戦略2030」を策定し、誰もが芸術文化を身近に触れられる環境を整え、人々の幸せに寄与することを目指しています。

今年の秋に開催される世界陸上・デフリンピックに向けて「芸術文化へのアクセシビリティ向上」に取り組んでおり、大会を契機に鑑賞サポート付きの展覧会・公演等がより多く開催されるよう、助成制度の拡充等を進めています。

多くの人々が芸術文化の創造に主体的に関わる環境を整備するためには、区市町村、芸術文化団体、NPO等との連携が不可欠です。

芸術文化の魅力を高め、生活もより豊かにする「芸術文化で躍動する都市」の実現に向けて、町田市文化協会の皆様の今後益々のご活躍に心からご期待申し上げます。一市民に戻りますが、何処かでお会いしたら、「よ、こいそ」とお声をおかけください。



ご挨拶

—誰もが文化芸術に身近に触れられる環境づくりに向けて—

(一財)町田市文化・国際交流財団 理事長 高橋 豊

町田市文化協会の皆様には、日頃から当財団の活動にご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

さて、ゴールデンウィークの始まりに開催された「西園にて新緑と楽しむ茶会」では、新緑の中でのお茶会を通じ、日本の四季と文化・芸術を楽しむ日本人の感性の素晴らしさを改めて感じました。また、「鶴川第二小学校・第二中学校の合唱」や「町田フィルハーモニー交響楽団」の演奏会には市民ホールが満員となるお客様が来場され、多くの市民の方が感動しておられました。このように町田市にゆかりのある方々と共に、身近に文化や芸術を感じられる機会を作っていくことは、町田の文化芸術力の発展になくてはならないものと考えております。

当財団では昨年6月に「まちだアーティストバンク」事業をスタートさせました。この事業は町田市ゆかりのアーティストとイベント事業者等とのマッチングを促進し、アーティストの活躍の場を広げることで「誰もが文化芸術に身近に触れられる環境づくり」を目的としています。現時点(2025年5月)で約170の団体や個人の方の登録をいただいております。今後はさらに登録者を増やすと共に、マッチングの機会を増やしアーティストの活躍の場を広げていくことを目指します。そのためには町田市文化協会の皆様と連携しながら、市民の皆様が文化芸術に触れる機会を増やしていきたいと考えております。結びに、町田市文化協会の益々のご発展と会員の皆様のご活躍をお祈り申し上げます。



文化活動と健康寿命の最前線に向けて

学校法人東京町田学園 理事長 井上 博行

先ごろ、人生を振り返って、人生って何！寿命って何！を頻繁に考える事が多くなりました。これは、年齢を越えて、「夢の実現」には、これ迄を区切る人と、まだまだ先々があると考える人の違いだと思います。

近ごろ、足腰が悪い人、成人病にかかっている人等と会話すると健康の尊さを身に染みて感じています。

私の健康を考える仲間で、厚労省の委員をしてきた方が、6つの提案をしていました。①栄養 ②運動 ③休養 ④たばこ ⑤アルコール ⑥歯の健康に配慮した生活が大切と提言されました。

私の考えは、上記は重要な自己管理の大切さを語っていると思いますが、付け加えるとすれば、若い時から「文化活動」を健康寿命の柱に据える事が大切であると思います。

文化活動はスポーツ活動と同様に非常に幅が広い分野ですが、夢の実現を叶えることによる自己意識をポジティブに考え、行動が伴うからです。

私が拝見する、文化協会の会員の多くが、強く、明るく、元気に、又熱心に活動する姿です。これから、未来の夢に向かって、共に楽しい人生を送ろうではありませんか！！



熊澤税務会計事務所
Kumazawa Tax & Accounting Office

税理士・行政書士
熊澤 裕人

税理士
熊澤 礼里

〒194-0023
東京都町田市旭町1-17-20
TEL 042-728-1110 FAX 042-728-5272
* 旭町交差点際

ごあいさつ

町田商工会議所 会頭 澤井 宏行



町田市文化協会の皆様におかれましては、日ごろから、様々な文化活動を通じて伝統文化並びに芸術の振興に多大なるご貢献をいただき、心より感謝申し上げます。価値観の多様化が進む現代において、人々に楽しさや感動、安らぎをもたらす文化芸術活動への期待は大きくなっております。町田市文化協会による文化活動の発信がより積極的に展開され、市民が市民芸術に親しむ機会を生み出していただくことは、地域文化力の向上に寄与し、市民生活により一層、豊かさをもたらすものと期待しております。当所といたしましても、町田市の風情を守りながら、郷土の大切な財産をいつまでも語り継ぐべく、文化・芸術と経済が連携し、町田の産業振興や新たな価値創造につなげていくよう務めて参ります。町田市文化協会の会員の皆様には、今後とも町田市の文化芸術振興の牽引役として、地域の薫り高い文化の醸成にお力添えをお願いするとともに、町田市文化協会のますますのご発展を心よりお祈りいたします。

斉藤歯科医院

院長 齊藤 潤一

齊藤恵津子（火・金 診療）

町田市成瀬台4-22-17

TEL.042-728-4086

診療日時

月・火 9:00~12:00

水・金 15:00~19:00

土 9:00~12:00

14:00~16:00

休診日 木・日曜日・祝日



「人生100年と言われるなかで」

株式会社グレースコーポレーション・ジャパン 代表取締役 中村 恵

人生100年と言われるなかで、先人達が繋げて、守ってきた賜物こそが文化なのだと感じるのです。最近私は子供のころの本棚にある宮沢賢治の世界に今、心より感動しているのです。賢治の短い生涯は100年を越え、農民芸術を問いながら世界幸福すなわち個人の幸福を願い、「理想郷・イーハトーブ」を創り永遠の宇宙に生きるに繋がっていると思うのです。人生第4コーナーを走る私がいま、本を開いています。個々が自分らしく居心地よく生きられる世界観。イギリス、ロンドンのソーホーのように、移民をふくめ人を受け入れそれが文化として一地区が残っている。その地区の人々の生き生きした姿を目にしました。私の場合はショッピングビルのイベントスペースであるギャラリーを通じ、そこで出会ったアーティストの方々のすばらしき才能、新しき発見として、まちだはまちだというチームができたことにより出会いに感謝、そして町田の文化の仲間に参加させていただいたように思うのです。貴文化協会の長年の貢献、高野会長のお言葉にある日々是好日！これぞ町田の文化であると声を大にして申し上げます。

「自然の美と共に」

国際ソロプチミスト町田 会長 山口美知子



私たちは素晴らしい自然を目の前にして、なぜ心地良いと思うのでしょうか・・・

ある美学者のお話しをお聴きしました。

「これまでの不自由さが融けほぐれて、開放感による心地良さが美しさであった・・・」国際ソロプチミスト町田は町田市文化協会 高野宗佳会長様はじめ町田周辺の関係者の皆様、姉妹クラブの皆様のご協力により認

証35周年を迎えました。会員一同心より御礼申し上げます。

この名称はsoror(ソロ：姉妹)とoptima(オブティマ：最善)=(女性にとって最良)と言うラテン語で、女性だけの奉仕団体です。

近年は「夢プログラム」を活動指針としています。夢プログラムは2つのコンポーネントで構成されています。【夢を生きる女性のための教育訓練賞】【夢を拓く中高生のキャリアサポート】で、困難にある女性と子どもの生活と人権の向上、経済支援、中高生の将来の夢を実現させるキャリアサポートセミナーです。

町田児童相談所開設により、女性と子どものとりまく環境が少しでも心地良さを感じて開放感を得て、一人一人が自由に自分らしさを大切に輝き続けることができる様に、Soroptimistは変化を受け入れながらサポートして行きます。皆様のお力添えに感謝申し上げます。これからの町田市文化協会様の益々のご発展をお祈り申し上げます。

「茶道の心とともに」

町田市議会議員茶道部 部長 若林章喜

新緑の美しい季節となりました。皆様、いかがお過ごしでしょうか。

ご機嫌よろしゅうございます『第17期町田市議会 議員茶道部』です。日頃から文化協会の皆様方の活動が、町田市の伝統文化・芸術の発展に、多大なるご貢献いただいておりますこと、心から感謝申し上げます。

例年、市議会定例会ごとではありますが、茶道会の先生方から熱心なご指導をいただいております。



茶道は、作法だけでなく、心を落ち着け、人とのつながりを大切にする文化として、私たちは一服の茶を楽しみながら『和敬清寂』の精神を学んでおります。また、月例茶会などを通して、お稽古の実践する場として参加させていただいております。

これからも、町田市文化協会・町田茶道会の皆様のご指導をいただきながら、私共の活動が、少しでも、市民の皆様の文化的豊かさに貢献できますように努めてまいります。



町田市議会議員茶道部（期数・年齢順・敬称略）

吉田つとむ・熊沢あやり・若林章喜・いわせ和子・山下てつや・戸塚正人・松岡みゆき・佐藤和彦・白川哲也・森本せいや・木目田英男・おぜき重太郎・矢口まゆ・秋田しづか・加藤真彦・中川幸太郎

きもの好きな人集合！！

- きもの無料体験（きものの着方と帯結び 1回のみ90分）

※以下は有料

- 着付も受け付けます。（要予約）
- 結婚式やパーティなどの留袖、振り袖、訪問着の着付けもお受けいたします。（要予約）

ハクビ京都きもの学院
田所伸江



※連絡先 042-726-0605

「令和6年度文部科学大臣表彰の榮譽に浴して」

一般社団法人町田市文化協会 常任顧問 新井 吼 優



この度私は令和6年度、地域文化功労者文部科学大臣表彰という、私にとりまして思いも掛けなかった、大きく、また大変重みのある受章をさせて戴きましたことを、茲に改めて、ご報告申し上げます。次第でございます。

此の特段の受賞に際しましては、令和6年11月20日文科省・文化庁で行われる表彰式に合わせるように、町田市長様をはじめ、町田市文化スポーツ振興部、町田市文化・国際交流財団と町田市文化協会の役員並びに多くの方々の、大変なお骨折りと、ご配慮と、温かいご支援を戴いた事に依るものと、深く敬意を表し心から感謝を申し上げます。誠に有難うございました。

令和6年12月2日には、時を同じくして、東京都文化功労者表彰を受章なされた町田市文化協会の高野会長とともに、町田市役所にて石阪市長を表敬訪問する機会を戴き、それぞれに此度の受章を報告申し上げ、短い時間ではありましたが至極温談の時を過ごさせていただきました。

今ここに来て、私が率直に感じますところは、誠に「身に余る光栄の至り」でありまして、今後は、この榮譽に羞じる事の無いよう、更なる精進を致して参る所存でございます。皆様にはこれからも、ご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

「お辞儀の奥深さ－角度で変わる敬意」

(一社)町田市文化協会 常任顧問 大西 宣也



日本のお辞儀には単なる挨拶以上の意味がある。角度やタイミングによって、微妙なニュアンスが生まれるからだ。例えば15度の軽い会釈はどうもといった気軽な挨拶。しかし、45度の深いお辞儀になると、ぐっと敬意がまし、謝罪や感謝の意が強くなる。

だが、お辞儀には想定外の失敗もある。たとえばタイミングが合わず、お互いが何度も頭を下げ続ける無限ループに突入することも。

先に上げたほうが負けなどという心理戦が始まり、気づけばエンドレスな丁寧さの応酬になってしまう。また電車内で軽く会釈したつもりが、つり革を握ったまま深々と頭を下げてしまい、不自然なバランスで静止することもある。このつり革お辞儀は一步間違えれば転倒の危険すら伴う。

お辞儀一つで人間関係が変わる日本。この絶妙なコミュニケーションの妙をこれからも大事にしたいものである。



「町田茶道会創立六十周年茶会を終えて」

町田茶道会 裏千家名誉師範 金子 宗恵

時の流れと共に幾多の変遷を経て輝かしい記念茶会を、昨年十二月八日文化交流センターに於いて盛会裡に終えました事に、当日薄茶席を担当させて頂きました一人として、改めて深く感謝申し上げます。

創立五十五周年茶会後に、未曾有のコロナ禍に遭遇し一時的に月例茶会も休止余儀なしとされ、空虚感と不安の中で創意工夫のおもてなしを編み出し、この困難を乗り越えた六十周年は殊更に意義深い事と考えております。茶道会発足以来今日に至るまでの道のりを築き上げた先人の先生方に哀悼の意を表すると共に、その恩恵に報いるべく茶道精神をしっかりと継承して参りたいと存じます。一旦茶室に入れば互いに敬い和合し、譲り合うのが茶道の精神であると利休居士の理念でもございます。裏千家先代家元鵬雲斎大宗匠は、一盃のお茶から世界に貢献する可能性がある、「一盃からピースフルネスを」の言葉を掲げ、現在百二歳にして世界各国を訪ねておられますそのお姿に、私は深く感銘を受けております。

昨今来日する外国人旅行者が茶道に関心を寄せ抹茶を楽しんでいる様でございます。大宗匠の掲げる平和の精神がその輪を広げ、日本伝統の茶道が世界に向けて貢献出来る事を願っております。この上は「白珪尚可磨」で一層の努力と精進を重ね茶の文化の普及に努めて参る所存でございます。今後もご支援ご指導宜しくお願い申し上げます。

「漢詩の美しい表現について」

町田市吟詠連盟 理事長 竹井 鶴 遼

芭蕉の奥の細道の平泉の一節に「国破れて山河あり、城春にして草青みたり」とあります。

もちろんこれは杜甫の「春望」の最初の二句

国破れて 山河在り

城春にして 草木深し

から取っています。声に出して読んでみると、とてもリズムがあって心地よい響きがあります。このように漢詩を読み下した日本語としての漢詩は、とても美しい言葉として心を打つものです。

上の2行は対句といいます。細かい説明は省きますが、漢詩の対句の表現は平安時代の和漢朗詠集にも多く残されています。

青山 北郭に横たわり

白水 東城を遶る これは李白の「友人を送る」

三五夜中新月の色

二千里外故人の心 これは白居易の詩の一節

このように漢詩にはさまざまな対句の表現があり、それを搜すのも漢詩を読む楽しみです。

私の好きな対句は 年年歳歳花相似

歳歳年年人不同

皆さんも漢詩の中の好きなフレーズを持つことで、心のゆとりを持って見ませんか。



「第五十回記念町田市民美術展を終えて」

町田市書道連盟 会長 宮本 博志

令和七年二月二十二日から三月二日まで、町田市立国際版画美術館において、(一社)町田市文化協会主催「第五十回記念町田市民美術展」が開催されました。

昭和五十年に市民の美術家有志により、市役所の一室を借りて開催された第一回展から回を重ね、五十回の記念展を迎えることができました。これも偏に町田市、(一社)町田市文化協会を初め、関係各団体のご支援と運営に携わられた諸先輩の熱意と、四十年以上連続出品の出品者など、多くの出品者に支えられていただいたお陰と心から厚く御礼を申し上げます。更に、五十年の間に会場に足を運んで下さった皆様のお励ましの賜と肝に銘じ、「地域の芸術文化の発展に寄与する」という創立の理念を胸に、歩み続けていきたいと思っています。

本年の総出品数二百八十七点、入場者総数五千三十四名と共に前年を上回り、記念イベントでは、大久保町田市立国際版画美術館館長、伊藤町田市立博物館館長の特別記念対談、伊藤富貴子さんのピアノコンサートが催されたことをご報告申し上げます。



「記念すべき第50回」

町田市美術協会 会長 岡島 節子

町田市民美術展を盛大に開催 出来ました事 皆様に心より感謝申し上げます。

昭和50年(1975年)に市民の美術家により第1回が開催されました。

当時は展示会場もなく元市役所の分室で展示、町田市唯一の市民による美術発表の場となりました。

昭和55年(1980年)の第6回展より『町田市美術協会』が発足設立し、主催は美術協会が引き継ぎました。1987年 町田市国際版画美術館がオープンしてからは1階市民展示室を使い2部に分けて、絵画展と手工芸展を開催しました。2007年からは、多くの方々のご尽力のおかげで2階企画展示室をこの展覧会の為に開放していただき多くの市民が美術作品を展示することが出来る様に成りました。今は文化協会主催 展示主催は町田市美術協会・町田市書道連盟として毎年多くの方々にご来場いただいております。

この素晴らしい会場に『日本刺繍作品』を展示していただける事を大変うれしく思っております。私に日本刺繍を指導してくださった先生は「日本刺繍は縫い道である」茶道、或いは華道の様にその道を極められるように日々精進する事「手は精神の出口である」心の迷い、乱れは、針を持つ手先に現れる、心を静め、雑念を振り払ってから針を持つようにと教わって参りました。まだまだ、道は極められません、微力ではございますが町田の文化・芸術 発展の為に協力させていただく事も精進の一つではないかと思っております。これからも少しでもお役に立てるように尽して参ります。

茶道と建築士のキャリアを

活かした発想で

貴方だけのお茶室を

ご提案致します。



遠州流茶道 宗家直門

家元参与

江成 宗夢 (勝敏)

茶室コンサルタント

一級建築士

ヘリテージマネージャー

古民家鑑定士



株式
会社

さくら建物



検索

〒194-0013 東京都町田市原町田 4-5-10 Tel : 042-722-0003 ©不動産のご相談承ります。

一つの柱 ～「禅定」の茶の湯

町田茶道会 理事 青木 宗裕

私は小さい時から、落ち着きはないけれど競争心もない、何事にもぼんやりの性格でした。そんな子どもも30歳を過ぎたあたりから、仕事とは別に自分の人生を支える三つの柱に気が付くようになりました。その一本の柱が「茶の湯」です。茶道の稽古を始めたのは18歳の時ですが、小さな時から日本に伝わるしきたりや風習のような物が好きだったと思います。その嗜好が茶道に結びついたのかも知れません。

茶道を習い始めた当初は、点前・作法を覚えるのが第一でしたが、茶花、茶の歴史、茶室、露地、懐石等々と茶に関する興味は、様々に広がって行きました。茶道具の中では漆器類が好きで、あまり陶磁器には興味がありませんでしたが、今はとても興味があります。そしてお茶を始めてからずっと興味の第一を占めているのが、掛け軸です。今では、僧侶の墨跡を中心に画賛、消息、絵画、短歌、俳句など気が付けば、百本以上あります。十日に一度は、床の間のお軸を掛け替え、己の生き方を考えたり季節を感じたり、教えを乞うたりしています。仕事のストレスも、掛け軸を掛け替えて、そのお軸に向かい合う時に解消されるのです。それが一時的でも、心の負担は随分と和らぎます。今でも、掛け軸を掛け替える作業は、かけがえのない喜び、そして掛け替えた軸に向かい合うことは、私にとって至福の時間なのです。そして、私が茶の湯を通して求めるものは、心の平安なのだと思います。どんなに立派な道具を並べた茶会・茶事でも心を乱すような場合は、私の人生の一本の柱としての「茶の湯」の場ではありません。

「禅定」

外ノ相を離るるは、すなわち禅 内ノ乱れざるは、すなわち定なり

外禅にして内定なる 是れを禅定となす

「茶の湯」を通じて、このように過ごして行きたいのだと、この頃つくづく思うのです。



町田茶道会研修旅行にて

花を愛でて

町田華道協会 副会長 飯田 青 葩

初めての「いけ花」は中学校の部活動でした。そして社会人になり勤務先の福利厚生で「いけ花クラブ」があり、仕事が終わってからのお稽古でしたが、楽しく学んでいたことを思い出します。その後帰郷してからも職場の近くに、同じ流派の教室がありました。当時「いけ花」は盛んでした。その先生は大勢の生徒が居るにも関わらず、お休みすると病気にでもなったのかと心配して、電話をくださるような、細やかな心遣いをされる先生でした。仕事や遊びにも忙しい若い頃でしたが、先生の励ましや熱心なご指導のおかげで教授の資格を取ることができました。結婚後もお稽古、研究会、指導と子育てをしながら続けてきました。つくづくお花が好きな私です。いけ花や文化 芸術は心のビタミンです。成果主義の世の中であって、すぐ効果として現れるものではないが、豊かな感性が育ち心が癒されるものです。これからも日本の伝統文化であるいけ花を守り、伝えながら精進してまいりたいと思います。



市役所迎え花



CHACHABYボトル

CHA CHA っとなのに、おいしいの。

CHACHABY

“日”々のなかに“日本茶”を

いつでも 日本茶を
もちろん 美味しく
シンプルな方法で楽しみながら
毎日つづけてほしい
そんな想いをカタチにしました



CHACHABYハウス



ボトルケース



＜・・・詳しくはQRコードからアクセス！＞

www.whais.jp/whais_chachaby.html

一般社団法人 WHAIS 〒223-0059 神奈川県横浜市港北区北新横浜1-7-8



CHACHABY



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

私たちは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

【寄稿1】

「新たな試み、そして新たな仲間をご紹介します」

町田市立国際工芸美術館(仮称) 館長 伊藤 嘉章



今年度、新しい試みを始めています。町田の子供たちは皆が工芸の楽しさを知っている、そんな町田が実現するように、「種を蒔く」ことを始めました。学校へ出かけて行き、子供たちとともに工芸に触れ、楽しんでいきます。そこから子供たちを知り、学校現場の今を知る。先生たちとお話をする中で、工芸美術館に何ができて、どんな可能性が広がるのかを一緒に考える。学校を取り巻く環境も大きく変わった今だからこそ、町田ならではの新しいやり方を探っていきます。「知って下さい、使って下さい。ちょっと楽しい工芸美術館」を目指して。

そして、大ニュースです。工芸の楽しさを伝えてくれる新たな仲間が加わりました。「フランス宮廷の磁器」と言われるセーブルのカップ&ソーサー、河原勝洋コレクションです。18世紀中頃から20世紀のアール・デコまで、欧州の最先端を走り続けたセーブルの100件を超えるカップ&ソーサーのコレクション、そこから見える美の展開は、まるで大きな河の流れのよう。カップ&ソーサーという最も身近な工芸でありながら、そこからアートの世界が一気に広がっていきます。そんな役割を新たな仲間は果たしてくれることでしょう。この素敵なコレクションを工芸美術館がどう料理していくか、乞う、ご期待です。

ごあいさつ

町田市立国際版画美術館 館長 大久保 純一

町田市文化協会様にはいつもお世話になっております。本年度もどうぞよろしくお願いいたします。

館名に国際を冠しているように、当館は展示や収集事業などに広い視野と高い志を持って美術館活動をしてきておりますが、町田市立である以上、市民のみなさまのご理解とご支援がなくてはなりません。その点、多彩で充実した文化活動を日常的に展開しておられる文化協会のみなさまに厚いご声援をいただいていることは、たいへん心強く感じております。



当館は、文化交流の観点から日本の版画を展望した企画展「日本の版画1200年―受けとめ、交わり、生まれ出る」を6月15日まで開催し、その豊富で幅広い館蔵コレクションが注目を集めてまいりました。夏休みを挟む7月5日から9月21日までは、企画展示「版画ってアートなの？」の開催を予定しております。中世から現代までの作品を扱いますが、これも版画なのか？と、おそらく多くの方々の既成概念を揺さぶる、意外性のある作品もたくさん展示されます。また、例年どおり、年が明けてからは町田市立小中学校作品展も開催する予定です。

これまで以上に意欲的に美術館事業に取り組んでまいりますので、どうぞ足をお運びください。

【寄稿2】

「就任のご挨拶」

(一財)町田市文化・国際交流財団町田市民ホール 館長 神蔵重徳



この度、町田市民ホールの館長に就任いたしました神蔵重徳でございます。

日頃より、当ホールをご利用いただき誠にありがとうございます。

これまで、まちづくりに携わり機能優先の世界で生きてきましたが、心機一転、文化・芸術、伝統や優美の世界へ飛び込んでまいりました。文化・芸術の世界も、「もの」を作り多くの方に喜んでいただくという思いは同じであり、これまでの仕事とも通じるものがあると思っております。そして、この新たなチャレンジにワクワクしております。

先日は、町田茶道会の月例茶会に参加させていただき、その空間にある全てが意味を持ち、つながり、おもてなしをするという日本人が長年培ってきた自然への感謝と他者を思いやる心を体現したものであると感じました。そして、先生方の造詣の深さは感嘆の念に堪えません。まさに、新しい世界への第一歩でした。

当ホールは、エンターテインメントの提供だけでなく、市民が主体的に行っている文化・芸術活動の拠点として、町田市文化協会の皆様をはじめ多くの市民に支えていただいております。改めまして町田市文化協会の皆様が日々研鑽を重ね、町田の文化の品格を高めていただいていること、また、広く市民へと文化の普及・浸透そして発展にご尽力いただいていることに感謝を申し上げます。これからも、当ホールが皆様から親しまれ、人々が集い、多くの笑顔が生まれる場としてご利用いただけるように努めてまいりますので、より一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

「町田の文化」第33号ご発行おめでとうございます



えびす屋商事有限公司

不動産の売買・賃貸の仲介と建物・駐車場管理をはじめ底地・借地権管理や建替、リノベーション等土地活用のご提案など**100%自社管理**で多種多様な業務に対応しています。是非一度ご相談ください

〒194-0021 町田市中町1-17-12(小田急線第2踏切そば、河合塾前)
電話042-722-2215 FAX042-726-0017



※駐車場あり

「俳句はドラマ」

町田市俳句連盟 会長 三遊亭らん丈



小説家の丸谷オ一と劇作家の山崎正和、おふたりともに故人となってしまうが、お二人の対談は今読んでも大層おもしろい。お二人が対談した「あけぼのすぎの歌会始」で短歌と俳句の違いについて言及している箇所があるので、それを引いてみます。山崎正和が、「具体的にひとつ、短歌と俳句を並べてみたいと思うんです。一本の道がずっと見えるということをやった、たいへん都合のいい例があるんです。(中略)片方は佐藤佐太郎さんの短歌で、「つれづれのかかる寂しき冬日さす道のとほくに犬がねて居る」これのもっている素直さ、寂しさという感情の単純さ、一よきにつけあしきにつけての単純さと、次の中村草田男さんの俳句と比べると、歴然としてくる。「真直ぐ往けと白痴が指しぬ秋の道」これはまた、よきにつけあしきにつけドラマの塊ですよ。そして、ここからいわゆる現代人の求めがちな物語性とか、あるいは複雑な世界の構造とかいうものに、広がっていくんですね。短歌は、何かひとつの非常に単純なものへの収斂をめざしている」と語り、俳句の素晴らしい捉え方を示しています。山崎正和は、「近代的な感情というか、内部に屈折をもち、イメージの対立を内部に含んだような表現は、どうも俳句のほうが短歌よりうまくいくんじゃないかという気がするんですね」とも言っており、全く同感です。

「人形文化連盟の歴史と、これから」

町田市人形文化連盟 会長 松岡みゆき(雅号:緋忠)



「人形を愛して」のスローガンの下、昨年秋の町田市民文化祭に人形文化連盟は第47回もの参加をしている歴史のある会です。文化祭は46回目です。なぜ人形は47回なのかには理由があります。故・川合会長、曰く「文化協会を立ち上げる時、陶芸の故・須藤紅洲先生達と大変な苦勞をして尽力した。立ち上げの前に町田市で展示会をしたのが最初の第1回でした。この1回目が文化協会の下支えとなり非常に貴重で、文化協会が創立されたのです。1回多いですが、これを忘れてはいけません」と言われ続けて今に至ります。

昨年は市民文化祭に約20名の皆様が、熱心に創作された作品が展示されました。日本人形・洋人形・木目込み・創作・押絵等があり、ジャンル毎に違った人形を来館者は楽しめ「人形の表情に癒されますね」との感想。押絵の作品は、江戸時代の「刀鍛冶・法論みそ売り・おでん燗酒売り・お飾り売り」等があり、感想は「繊細で時代の雰囲気伝わりますね」又、「お手玉とお裁縫道具」は懐かしい風景に、女性は勿論、男性も「母が裁縫していた姿が蘇りました」との感想がありました。

ワークショップも開き「根付・ブローチ」を指導し、大人から子供さんにも喜ばれました。さらに町田市立国際版画美術館で「春の催し」の「第50回町田市民美術展」にも皆さんで出展し、武相新聞にも掲載頂き感謝申し上げます。

会員は、国内は勿論の事、海外に赴き展示会に出展したり、教室を持ち指導したり、人形美術協会(財団法人)で師範の雅号を頂いたり、皆様が人形を愛して日々、研鑽に励んでいます。今後会員一同、町田市の文化の発展に寄与すべく精進して参りますので、宜しくお願い申し上げます。

「フラとの出会い」

東京都町田市フラ協会 会長 大野 悦子

若かりし頃見た映画、エルビス・プレスリー主演の『ブルーハワイ』に衝撃を受けました。白い浜辺で男女が砂を蹴りながら、歌って、踊って、楽しそうにはしゃいでいる場面があり、「ハワイってステキなところ、いつかは行ってみたい。」と思ったものです。

そして、ハワイの伝統文化であるフラを、それから何十年後に習い始めるようになりました。本格的に指導者を目指して学びたいと思う気持ちが強まり、指導者養成コースに通い、やがて指導者としてのお名前も頂戴し、晴れて生徒さんを持つことができるようになりました。石橋隆子会長率いる東京都町田市フラ協会のもとで、町田市文化協会にも永くお世話になりながら、今日に至っております。改めて深く感謝申し申し上げます。

石橋会長には、この先も永く会長としてご尽力頂けるものと思っておりましたところ、このたびご退任されることとなりました。本当に長い間ありがとうございました。

石橋会長の後任として、予期せぬことに私が会長の重任をお引き受けすることとなりましたが、何分にも力不足は否めないところです。私なりに精一杯勤めさせて頂きたいと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



「新任のご挨拶」

町田市舞踊連合会 会長 竹峰 敏旭 絵



この度 舞踊連合会前任の内海ろ之扇会長より、会長職を引き継ぎました、竹峰敏旭絵 こと 野口敏子でございます。

日頃より、文化協会の皆様方におかれましては 心より感謝申し上げます。

当会は、平成27年に設立し現在に至っております。

歴代の会長様の築いてきた舞踊連合会を更に一層の活動を充実し文化活動に努めて参る所存でございます。

一年を通し、春には尾根緑道さくらまつり、秋には市民ホール文化祭の舞踊のつどい、新春文化の祭典舞踊のつどい、鶴川ポブリホールにて開催致しております。

舞踊を通して市民の皆様との交流拡大を目指し、青少年育成及び会員相互の親睦の輪を広げ、皆様方との出会いを大切に努力して参りたいと思います。

今後、皆様方のご指導ご支援を賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

「創立43年を迎えて」

町田市民謡協会 会長 志賀 叶 祥



町田市文化協会高野宗佳会長はじめ役員の方には日頃大変お世話様になっております。私は町田市民謡協会の代表を務めさせて頂きこの春で4年目を迎えることになりました。先日4月29日民謡協会は創立43年を迎え町田市民謡協会演奏大会を町田市民ホールにて行いました。顧みれば私自身43年前初めて三味線を手にした記憶ありまして、その時の思い出がいまだに心に残っております。今後の初心者には、何年もその思いを積み重ねていくものと感じております。唄う曲目も若い時と現在と43年すぎると曲にたいする思いが変化するものを感じます。それでこそ長い時間をかけて修業出来るものと思います。今後とも宜しくお願い申し上げます。

「文化を大切にする社会に」

日本アルコール物流株式会社 代表取締役社長 吉 林 等

「町田の文化」第33号の発行を心よりお喜び申し上げます。

また、町田市文化協会の皆様におかれましては、日頃から様々な文化芸術振興活動を通じて豊かな社会づくりに多大な貢献をされていることに深く敬服いたします。

さて、「町の発展」とは、単に経済的な成長だけでなく、人間が人間らしく生き、共に生きる社会をつくり、より質の高い生活環境を整備し、地域の魅力とコミュニティを活性化させていくことだと感じており、特にその中で「文化」の果たす役割は限りなく大きく、その中心的な役割を担い実践しているのが町田市文化協会様の活動だと常日頃感じています。協会加盟各団体様の不退転の活動は感動の連続であり、伝統の継承、普及を正に実践され、素晴らしい人づくりと社会づくりに貢献されています。

昨今、世の中においては、ダイバーシティー、高度情報化などと常に新しいものや高度なものを追い求め、世界からも羨ましがられていた日本文化のホスピタリティーの精神や接遇が少し疎かになっている様に感じています。

私は茶道に少し触れていますが、その指南書の南方録と言う古伝書に、「水を運び、薪をとり、湯を沸かし、茶を点てて、仏に供え人にも施し、吾ものむ。花をたて香をたく。みなみな仏祖の行いのあとを学ぶなり。」と言う大変有名な一節があります。たった一服のお茶にも自然の恵み、人の恵み、そして自分を生かしているあらゆるご縁が詰まっています。和もあり敬もある、そのお茶を頂くということは、頂いたご縁に心から感謝するということであります。

人間が人間らしく生き、社会を活性化させる一助とするために、改めてこの一節の意味を今一度よく考えて、微力ではありますが町田市文化協会様の活動にこれからも貢献出来るよう精一杯尽力して参りたいと思います。



「創立40周年を迎え」

NPO法人町田演劇鑑賞会 事務局長 紫 桃 弘 美

NPO 法人町田演劇鑑賞会（以下、鑑賞会）は、1984年2月、「身近な町田市民ホールで演劇を定期的に観て、日々の生活の中に心の潤いを持とう」という趣旨のもと僅か18名で準備会が発足し、今年創立40周年を迎えました。鑑賞会の40年間の活動の中で私たち会員は、200本以上の演劇作品と出会い、感動を共有してきました。

現在は800名を超える会員が2ヶ月に一度の観劇を楽しんでいます。鑑賞会は、年間6本の上質な演劇を鑑賞するサークル制・会員制の非営利の文化団体であり、2016年にはNPO法人として東京都の認証を受けています。

創立40周年という節目の今年は、2025年の例会（上演）作品の舞台写真を載せたオリジナルカレンダーを作製し、これまでの歴史をまとめたリーフレットを発行しました。また、10月には劇団俳優座の岩崎加根子さんをゲストにお招きし、記念事業を開催する予定です。

この機会に多くの方々に鑑賞会を知っていただき、ぜひ仲間になって人と人との繋がりを深め



Pカンパニー「5月35日」8/25・26上演

ていただきたいと思います。観劇は夜・昼の2日間2ステージです。夜公演は18時30分開演、昼公演は13時開演となっています。入会金1,000円、月会費は一般2,500円、ハンデ1,200円、学生1,000円です。お問い合わせはお気軽に事務局までどうぞ！



劇団俳優座「猫、獅子になる」12/2・3上演

「情熱の舞台へ — フラメンコ活動紹介」

むさしのスペイン音楽協会 町田支部代表 山 崎 ま や



私たちのフラメンコ活動は、ただ踊りを踊るためのものではありません。

それは人そのものを表現する舞台、そして心を揺さぶる物語の舞台の創造のためです。

スペイン・アンダルシアの風を感じさせるフラメンコ。私たちはその伝統を大切にしながらも、日本という地で独自の表現を追求しています。毎回の公演にはテーマがあり、登場人物の想いや葛藤、苦悩や歓喜が踊りと音楽を通して語られます。

オリジナルストーリーはナレーションによって紡がれ、踊りはその中で意味を持ち深みを増します。観客の中には涙を流す方もおり、「素晴らしかった、心が震えた」との感想をいただいたこともあります。

練習は決して楽ではありませんが、仲間と支え合いながら一歩ずつ完成に近づく過程には、大きな喜びがあります。

舞台本番では、観客の心に届く瞬間を信じて、全員が心をひとつにします。フラメンコは、表現する喜びと、観る人とのつながりを感じられる特別なアートです。

私たちはこれからも、みんなで創る舞台の力を信じて、活動を続けていきます。そしてより多くの方にこの舞台を通して感動や喜びを届けていきたいと思っています。

「文化功労の表彰をいただいて」

岩田マンドリーノ・シンフォニカ代表 高橋 豊



私がマンドリンオーケストラに出会ったのは、大学でマンドリンクラブに入部したときでした。卒業後は少し離れていたのですが「広報まちだ」の団員募集をみて、現団体の第25回演奏会（1985年）から参加し現在に至っています。

私たちの団体は主に毎年6月の市民ホールでの演奏会と秋の町田市民文化祭で演奏をしています。終演後に笑顔で帰られるお客様を見ると音楽を趣味にしている“幸せだな”と感じる瞬間です。このように好きなことをやってきただけなのに、この度、「多年にわたり文化芸術の振興に尽力」したことで町田市の「一般表彰」を頂きましたことに心から感謝いたします。これからも少しでも良い演奏（心のこもった演奏）ができるよう取り組み、町田市の文化芸術の向上に貢献できれば思っております。

「文化功労賞を受賞して」

町田華道協会 会長 鈴木 瑩 梢



風薫る五月、さわやかな季節となりました。

この度、芸術文化功労賞を受賞出来ましたことは、大変光栄で、忘れられない思い出となりました。華道の会員と共に運営・創作に励み、町田の魅力を改めて感じることが出来ました。創立者五十子白和名誉相談役のご指導とご尽力に心より感謝申し上げます。

創立八十周年を目標に会員一丸となって華道の楽しさ、美しさ、語り合える喜びを学んで欲しいと願っています。

町田の文化は、かがやく未来に一步前進することになるでしょう。
いけばなの文化の伝承に努めて参ります。

「文化功労賞・姉妹で受賞」

特定非営利活動法人 町田楽友協会 土井美智代 菅谷マスミ



私達姉妹（土井・菅谷）は、長年の夢であった「全てのバリアを取り除いたオーケストラ」を作ろうとの思いから、町田楽友協会を立ち上げました。その後、当時会長でいらした大西宣也先生のお誘いを受け、文化協会に入れて頂きました。

1999年に町田市で初のNPOを取得し、現在に至っています。



岩手県での数々の交流合宿、米国では2回（ロサンゼルス・シアトル）の交流合宿を致しました。これからの「夢・抱負」は、「世界に羽ばたく」という事です。

心豊かに過ごせる社会づくりに少しでも貢献できるよう、今後とも頑張ります。
応援のほどよろしく願いいたします。

「町田市より表彰を受けて」

町田茶道会 副会長 有賀 仙陽



5月11日町田市文化交流センター6階ホールに於きまして、町田市表彰式が行われました。表彰を受ける一員としまして、参加させていただきました。

自治功労と一般表彰があり、一般表彰のうち「多年にわたり文化芸術の振興に尽力」したとして、市長石阪丈一様より表彰状をいただきました。

このたび私が表彰を受けられましたのは、推薦して下さいました茶道会会長高野宗佳先生はじめ、会員の先生方、茶道会茶会に参席下さるお客様方の陰のお力をいただいているからと、心より感謝いたしております。

これを期に気持ちを新たに、茶道に専心いたしたく思っております。

「二人の師との出会い」

町田茶道会 理事 舘山 宗春



町田市から文化芸術功労という身に余る賞を頂きましたのは二人の師との出会いのお陰様と改めて感謝の思いで一杯です。今は亡き茶道の師、倉沢宗満先生と町田茶道会会長 高野宗佳先生でございます。

四十年以上前、一軒お隣に越してまいりました事がきっかけで裏千家に入門いたしました。楽しみで始めたお茶ではありませんが、厳しくもお優しい先生の下、沢山の事を教えて頂きました。そして思いがけない師との別れ…。別の先生についてお茶を続ける様勧められましたが、今更という気持ちでございました。人に教えるという事は考えたこともございませんでしたので思い悩みました。

おりしも、師の後押しで入会し、事務的な事をさせて頂いておりました町田茶道会の高野会長が文化協会の会長となられ、茶道会からお手伝いさせて頂く事となり人生の師に出会いました。折に触れ「人の道」を示して下さいます。

未熟な私をご推薦いただき、お二人にこの先も頑張りなさいと頂戴した賞だと思っております。

「町田市文化芸術功労賞をいただいて」

東京都町田市フラ協会 会長 大野 悦子



このたび思いもかけず、町田市から文化芸術功労賞を受賞させていただきました。

私自身フラが大好きで、長年にわたりフラに親しんで参りましたが、私の個人的な楽しみとして続けてきた結果、東京都町田市フラ協会としての活動と重なり、さらには町田市文化協会の一員として、各種イベントなどにも参加させていただくことが出来ました。市内のいろいろな場所で行われるイベントに参加するとき、出演者はドキドキわくわくしながら、楽しみに待ち望んでいます。

まずは私たちが楽しみながら、その結果として、ささやかでも町田市の文化芸術の発展にお役に立つことが出来たのであれば大変嬉しく思います。

これからもフラの活動を末永く続けていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

「町田市文化功労章受章を頂いて」

音楽の泉代表 斉藤 恵津子



1981年町田市成瀬台に縁があって歯科医院を開業し、1990年町田市民ホールでリサイタルを行い、アマチュア歌手の発表の場として“音楽の泉”を結成、毎月無料のサロンコンサートを始めました。クラシックの仲間も交えておりましたが、シャンソン・カンツォーネ、タンゴ等を歌う多くの仲間が出来、多くのお客様が增え、グリーンホール相模大野の大ホールを埋める事が出来、結果として2022年まで毎年グリーンホール巴里祭を続けて参りました。阪神淡路大震災、新潟震災、東日本大震災、熊本地震支援チャリティーコンサート開催、環境変化の心配から環境団体支援チャリティーコンサート等も企画開催し、ずっと歌って参りました。1995年、成瀬駅前にマ・シャンプルを開き、ゲストを交えて月2回の定期コンサートを続けております。2015年に団体に対しての功労賞を頂き、今回は個人表彰を頂く事が出来ました。感謝致します。

「文化功労賞を受賞して」

NPO法人町田演劇鑑賞会 事務局長 紫 桃 弘 美



私が所属しているNPO法人町田演劇鑑賞会は、今年創立40周年を迎えました。その記念の年にこのような名誉ある賞をいただき、とてもありがたく思っています。鑑賞会には苦労を重ねた人生の先輩方や新しい挑戦に励む若い人など多様な会員がいて、皆さんとお芝居に限らず色々なお話をする機会は私の宝物になっています。演劇を観続けることは、お芝居の楽しみに加え、人と人との繋がりを深め人生を豊かにしてくれます。鑑賞会をより多くの皆さんに知っていただき、これからも町田市の文化の発展と共に歩んでいきたいと考えています。

「文化芸術功労賞の受賞について」

ハワイ音楽とフラを楽しむ会 会長 高橋 惣一



この度は、町田市文化協会のご推薦により町田市文化芸術功労賞を受賞いたしました。この事はハワイ音楽とフラを楽しむ会(旧ハワイ音楽と舞踊研究会)歴代の会長及び役員の方々の行動によるところが大きいとおもいます。当会は2008年に設立以来17年になりますが町田市文化協会の中では比較的新しいクラブではないかとおもいますが、新型コロナにより老人施設等のボランティア活動が一時中断となりましたがその間も夏の町田フォーラムでのウクレレとフラのコンサート、秋の市民文化祭でのハワイ音楽とフラの集いは続けて参りました。今後もこのような活動を続けていきたいと思ひます。会員も年々高齢になっており世代交代ができないということがあります。それでも現状を維持しながらもこの会を続けていきたいと思ひています。これからも町田市の文化の振興に寄与できるようになお一層の精進をしてまいります。この度は誠にありがとうございました。(一社)町田市文化協会の益々のご発展を祈っております。

町田市民文化祭 秋の催し

会場：町田市民ホール

令和6年10月～11月



高野会長挨拶



石坂市長挨拶



ウェルカムコンサート



岩田マンドリーノ・シンフォニカ



ハワイ音楽とフラを楽しむ会



むさしのスペイン音楽協会町田支部



むかし袋の会



町田市人形文化連盟



ナベ音楽協会



町田市俳句連盟



国際ソロプチミスト町田



町田市民謡協会



町田市舞踊連合会



町田市吟詠連盟



ワイズ・ワークショップ



町田音訳の会「朗奉」



盆踊り大会



親子で親しむお茶会



海外の皆様のお茶体験



楽友協会



いけ花と絵画のコラボ



音楽の泉



いけ花



東京都町田市フラ協会



陶芸教室



学童保育クラブ絵画展



町田演劇鑑賞会



映像文化研究会 映画上映



市民陶芸



囲碁大会



J A 野菜販売

町田市民文化祭 春の催し

令和7年2月22日～3月2日



50回記念式典



表彰式



表彰式



石阪市長 版画出品



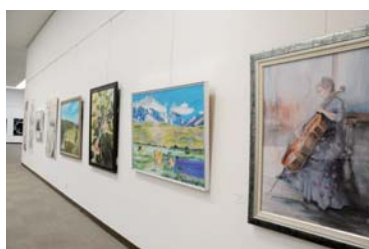
ぬり絵教室



席上揮毫（学生）



絵画



絵画



工芸作品



人形



書道



デザイン

新春文化の祭典 in 鶴川 2025 令和7年1月11日～13日



いけ花デモンストレーション 石阪市長



茶道会



茶道教室



吟詠大会



シャンソン



舞踊連合会



囲碁連盟



映像文化研究会 折り紙教室



能ワークショップ

令和6年度 賀詞交歓会

令和7年2月2日(日)



高野会長挨拶



石坂市長ご挨拶



山下副議長ご挨拶



伊藤衆議院議員ご挨拶



井上町田デザイン&建築専門学校理事長
乾杯のご発声



市議会議員の皆様



市議会議員の皆様



ご歓談



ご歓談



賛助会員の皆様



音楽の泉



ご歓談



賛助会員の皆様



ナベ音楽協会



吟詠

町田市民美術展 第50回記念メモリアルイベント



ピアノコンサート



伊藤富貴子さん



講演 伊藤館長



講演 大久保館長

研修旅行 川崎訪問



ミュージア川崎シンフォニーホール



ミュージア川崎シンフォニーホール館内



川崎大師境内

さくらまつり2025

令和7年3月29日～30日

町田さくらまつりは、3月29日、30日の両日尾根緑道ほか2会場で開催されました。文化協会は尾根緑道会場へ、舞台2団体、テント3張りで参加しました。例年さくらまつりは、天気とさくらの開花に左右されますが、今年はさくらは満開の時期と重なり、絶好のロケーションとなりました。ただ初日が天候にめぐまれず、雨の寒い一日になりました。そのため予定していた舞台出演はほとんどの団体で見合わせになりました。しかし2日目は絶好の花見日和となり、過去最高と思えるような賑わいとなりました。美術協会では子供向けの木製玩具の企画が大好評で小さな花見客がたくさん集まってくれました。文化協会の本部では、昨年に続き華供養をおこない多くのかたにご参加いただきました。また併せておこなった能登震災支援の箸の販売、募金にもご協力をいただきました。



市長あいさつ



東京都町田市フラ協会



華供養の風景



さくらまつり美術協会

(一社) 町田市文化協会 令和6年度 活動記録

令和6年4月1日～令和7年3月31日

〈敬称略〉

令和6年

3月30日(土)・31日(日) 2024町田さくらまつり

舞台:町田市舞踊連合会、東京都町田市フラ協会

展示:町田市美術協会 町田市文化協会

文協通信82号(4月1日号)発行



於:尾根緑道

後援事業

4月16・17日第212回例会～令和6年2月6日 第217回例会(主催:町田演劇鑑賞会) 於:市民ホール

4月16日(火) 市・財団・協会第1回情報交換会

於:市民ホール

新年度顔合わせ及び三者のビジョンの共有化

出席者 町田市:老沼正彦文化スポーツ振興部長、山田雄介文化振興課長

財団:宗田隆由専務理事、佐藤浩子文化団体支援室長

協会:高野宗佳会長、池田理事、竹井理事、大谷理事、岡野理事、舘山理事

後援事業

4月21日(日)～令和7年3月16日(日) 月例会(主催:町田茶道会)

於:文化交流センター

4月30日(火) 町田市文化協会事務所 看板掲額式

於:市民ホール レストラン

出席者:町田デザイン&建築専門学校井上理事長、
文化協会高野会長、新井常任顧問以下25名

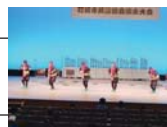


5月5日(日) 第1回役員会

後援事業

5月6日(月)第42回町田市民謡協会演奏大会(町田市民謡協会)

於:市民ホール



5月13日(月) 第1回運営委員会 町田市・財団・協会第1回情報交換会について 於:町田市民フォーラム
代表交代ハワイ音楽とフラを楽しむ会(高橋惣一)ナベ音楽協会(白橋璃沙)町田市美術協会(岡島節子)

5月15日(水) 第4回町田さくらまつり尾根緑道部会(加瀬副会長 竹井理事出席) 於:忠生市民センター
前回の反省会

5月20日(月) 事務局会議(高野会長、竹井、大谷、鈴木、舘山)

於:文化協会事務所

後援事業

5月25日(土) 国際ソロプチミスト町田認証35周年記念チャリティー

レンブラントホテル東京町田

5月28日(火) 事務局会議(会長、竹井、大谷、石橋、舘山)

於:文化協会事務所

6月3日(月) 第1回理事会 定時総会に向けて。むさしのスペイン音楽協会入会承認、

町田市文化功労章受賞者について、研修について等

於:町田市民フォーラム

6月5日(水) 監査 高野会長、平野 清監事、森和秋顧問、岡野理事、鈴木理事、舘山理事 於:文化協会事務所

6月12日(水) 町田市民文化祭「春の催し」第50回市美展第1回打合せ 於:市立国際版画美術館

後援事業

6月16日(日) 令和6年度夏季吟詠大会(町田市吟詠連盟)

於:成瀬コミュニティーセンター

後援事業

6月16日(日) 岩田マンドリーノ・シンフォニカ第61回定期演奏会(主催:岩田マンドリーノ) 於:市民ホール

6月24日(月) 第2回役員会

令和6年度 一般社団法人 町田市文化協会 定時社員総会

開催日時: 令和6年6月29日(土)午前10時~12時

開催場所: 町田市民ホール

出席社員数 総社員数:70名 出席社員数:66名(本人出席 44名 委任状出席 22名)
議 長 代表理事 小日向佳子(高野宗佳)
出席役員 理事 小日向佳子(高野宗佳)、三竹和行、加瀬友一、舘山はるみ、
鈴木京子、大谷光雄、竹井敏夫、飯田俊孝、池田博一、黒崎聡史
監事 平野 清
出席者 衆議院議員 小倉まさのぶ様
町田市文化スポーツ振興部 老沼正彦部長
(一財)町田市文化・国際交流財団 宗田隆由専務理事
文化団体支援室 佐藤浩子室長
常任顧問:大西宣也 顧問 鷺北秀樹



報告事項

1. 令和5年度 事業報告の件

決議事項

第1号議案:令和5年度決算承認の件

第2号議案:令和6年度 事業計画案及び予算案承認の件

第3号議案:理事選任の件以下の理事を読み上げ新体制を提案

理事 小日向佳子(高野宗佳)、加瀬友一、舘山はるみ、鈴木京子、岡野美紀子、
竹井敏夫、大谷光雄、飯田俊孝、池田博一、黒崎聡史、石橋國彦

全て原案通り承認される

6月29日(土) 第2回理事会

於:市民ホールレストラン

出席役員:理事 小日向佳子(高野宗佳)、加瀬友一、竹井敏夫、大谷光雄、飯田俊孝、池田博一、
岡野美紀子、鈴木京子、舘山はるみ、石橋國彦、黒崎聡史

監事 平野 清

常任顧問:大西宣也 顧問:鷺北秀樹 三竹和行

会長(代表理事)及び副会長選定の件。立候補者無く議長の高野前会長に一任。

会長:小日向佳子(高野宗佳) 副会長:加瀬友一 大谷光雄 竹井敏夫

全員異議なく賛成。被選定者は、席上直ちにその就任を承諾した。

6月29日(土) 総会後懇親会 出席者78名 むさしのスペイン音楽協会 お披露目の演舞 於:市民ホール
文協通信83号(7月1日号)発行

町田の文化第32号(7月10日)発行



7月10日(水) 町田市民文化祭「春の催し」第50回市美展第2回打合せ

於:版画美術館

後援事業

7月12日(金) (一社)WHAYS定時総会+特別記念講演会

於:文化交流センター

- 7月22日(月) 第1回事務局文化祭準備委員会 於:市民ホール
町田市民文化祭秋について。研修事業、新春文化の祭典、町田市民文化祭春第50回記念
町田市民美術展について他 町田の文化第32号、文教通信83号配布
- 8月7日(水) 第1回研修事業「川崎シンフォニーホールミュージアム川崎」見学と川崎大師 参加者47名
- 8月14日(水) 町田市民文化祭「春の催し」第50回市美展第3回打合せ 於:市立国際版画美術館

後援事業

- 8月25日(水)～9月1日(日) 第30回アートコンテスト 町田市展(主催:町田市美術協会) 於:市立国際版画美術館

- 8月29日(月) 市役所へ自治会連合会への文化祭ポスター配布依頼
- 9月9日(月) 第3回理事会 市民文化祭進捗状況、式典での感謝状贈呈(井上理事長・宮本会長・山脇様)について
第50回記念市美展目録広告について他。 於:市民ホール

後援事業

- 9月3日(火)～8日(日) 第64回町田市書道連盟展(主催:書道連盟)



於:市民ホール

- 10月1日(火) 高野宗佳文化協会会長 東京都文化功労受賞
- 10月6日(日) 八王子市民文化祭オープニングセレモニーに池田理事出席
- 10月8日(火) 第2回事務局文化祭準備委員会 文化祭プログラム配布等



於:市民ホール

後援事業

- 10月19日(土)・20日(日)第71回町田華道協会展(主催:町田華道協会)

於:文化交流センター

- 10月12日(土) 多摩市民文化祭オープニングセレモニーに竹井副会長出席
文協通信84号(10月1日号)発行



於:忠生市民センター

- 10月25日(金) 第1回町田さくらまつり尾根緑道部会(加瀬・竹井)
- 10月25日(金) 町田市スポーツ協会情報交換会に大谷副会長出席
- 10月28日(月) 第3回役員会

於:市民ホール

- 10月30日(水)～11月4日(月) 令和6年度第46回町田市民文化祭秋の催し
能登災害支援 輪島の塗箸販売及び募金活動
参加人数:約24,000人

於:市民ホール



後援事業

MOA美術館 町田みんなの児童作品展(主催:町田みんなの児童作品展実行委員会)

- 10月25日(金)～27日(日)於:市立国際版画美術館 29日(火)～11月2日(土) 於:町田市民病院

- 11月13日(水) 第4回役員会 於:市民ホール
- 11月20日(水) 新井吼優文化協会常任顧問 文化庁地方文化功労受賞
- 11月25日(月) 第4回理事会 臨時社員総会12月9日(月)開催承認 於:町田市民フォーラム
新井吼優文化協会常任顧問 文化庁地方文化功労受賞、高野宗佳文化協会会長
東京都文化功労受賞報告他
- 11月25日(月) 能登復興義援金を町田市社会福祉協議会を通じ中央共同募金会へ寄付
- 12月2日(月) 町田市長表敬訪問 文化協会 新井吼優常任顧問、高野宗佳会長受賞報告 於:市役所市長公室
(同行者 加瀬副会長、竹井副会長、大谷副会長、池田理事)

- 12月9日(月) 臨時社員総会 13時30分～15時 於:市民ホール
 出席者 社員総数70名 出席社員数63名(本人出席35名 委任状28名)
 理事役員11名、監事2名、常任顧問2名、顧問2名
 (一財)町田市文化・国際交流財団 高橋理事長、宗田隆由専務理事、佐藤浩子文化団体室長
 上半期活動報告、新井文化協会常任顧問文化庁地方文化功勞受章、高野文化協会会長東京都
 文化功勞受賞報告等。下半期活動予定、第50回記念「町田市民美術展」メモリアルイベント他。
- 12月11日(水) 第1回町田さくらまつり尾根緑道部会(加瀬・竹井) 於:忠生市民センター
- 12月20日(金) 市・財団・協会第2回情報交換会 於:市民ホール
 出席者 町田市:老沼正彦文化スポーツ振興部長、山田雄介文化振興課長
 財団:高橋豊理事長、宗田隆由専務理事、佐藤浩子文化団体支援室長
 協会:高野宗佳会長、池田理事、竹井副会長、大谷副会長、岡野理事、館山理事

令和7年

文協通信85号(1月1日号)発行

- 1月11日(土)～13日(月・祝) 第12回新春文化の祭典in鶴川2025 於:和光大学ポプルホール鶴川
 来場者:3日間延人数 総計2,150名

後援事業

- 1月11日(土)～12日(日)第64回 町田市小・中学生書初展(主催:書道連盟) 於:市民ホール
 一般社団法人町田市文化協会会長賞授与
- 1月15日(月) 第2回町田さくらまつり尾根緑道部会(加瀬・竹井) 於:忠生市民センター
- 1月25日(土) 鶴川香山園オープニングイベント(町田茶道会協力) 於:鶴川香山園
- 2月2日(日) 賀詞交歓会 参加者 132名 ご来賓:61名 於:レンブラントホテル東京町田
 出演団体:舞踊連合会、音楽の泉、ナベ音楽協会、吟詠連盟
- 2月5日(水) 町田市民文化祭「春の催し」第50回記念市美展第4回打合せ 於:市立国際版画美術館
- 2月17日(月) 春の文化祭「市美展」コンサート打合せ役員会 於:レンブラントホテル東京町田
- 2月22日(土)～3月2日(日) 町田市民文化祭「春の催し」(第50回記念町田市民美術展) 於:市立国際版画美術館
 事業主催:町田市美術協会 町田市書道連盟 幹事団体:町田市書道連盟
 来場者 延べ約5,000名
 出品数:287点(絵画・デザイン・彫刻 114点、工芸・手芸・人形・写真89点、書道部門 84点)
 石坂市長版画2点初出品
- 2月22日(土)オープニングセレモニー ご来賓:木目田市議会議長、議員等14名 広告主様4名
 連続出品者表彰式 第50回記念特別表彰 40年以上連続 7名
 メダル受賞者:30年連続 1名、10年連続 12名
- 2月23日(日)楽しくぬりえをしましょう
- 2月24日(月祝) 第50回年記念町田市民美術展メモリアルイベント 文化協会研修事業
 参加者 120名
 ピアノ演奏:伊藤富貴子様(エントランスホール)
 特別記念講演 対談:「世界の中でも町田だけ」国際版画・国際工芸 何が面白い、どう素晴らしい
 町田市立博物館館長 伊藤嘉章氏 町田市立国際版画美術館館長 大久保純一氏
- 3月1日(土)席上揮毫
- 3月11日(火) 第5回役員会 於:町田市民ホール

- 3月13日(月) 第3回町田さくらまつり尾根緑道部会(加瀬・竹井) 於:忠生市民センター
- 3月24日(月) 第5回理事会 於:町田市民フォーラム
 定時社員総会に向けて、令和7年度事業計画案・予算案の承認等。町田市からの補助金について他
 新年度事務局体制について
- 3月24日(月) 第2回運営委員会 於:町田市民フォーラム
 令和7年度第47回秋の文化祭について、定時社員総会・懇親会について
- 3月25日(火) 市美展会計監査(高野会長・美術協会岡島会長・書道連盟齊藤副会長)於:文化協会事務所
 第50回記念市民美術展事業報告書を町田市に提出



秋の文化祭 書道といけ花のコラボレーション



NOZAWA & NAKANO

野澤・中野法律事務所



045-319-6443

横浜市中区真砂町4-43 木下商事ビル8階



賛助会員ご芳名

五十音順

(株)足立造園 足立 一郎 様
石井 章夫 様
石井 あゆ子様
石阪 恭子 様
ASVペスカドーラ町田 関野 淳太 様
FC町田ゼルビア 藤田 晋 様
えびす屋商事(有) 柴崎 亜紀子 様
MOA美術館町田みんなの児童作品展 様
(有)大塚商店 大塚 信彰 様
(株)大沢園 大沢 拓郎 様
小関 恵里花 様
(株)華月 上野 克浩 様
吉林 等 様
吉林 聡子 様
木目田 征 様
きもののお手入れ専門店旭屋 勝川 由規 様
虚心亭 池田 博子 様
熊澤税務会計事務所 熊澤 裕人 様
国際ソロプチミスト町田 様
小寺 法子 様
(学)こひつじ学園 豊田 ゆり子 様
小山 勇治 様
(株)さがみや 三橋 良二 様
(株)さくら建物 江成 勝敏 様
讃岐 恵舟 様
渋谷商工(有) 渋谷 武己 様
須山 庸泉 様
(株)創建 深澤 勝 様
田賀法律事務所 小林 喜浩 様
田所 佳伸 様

茶懷石 小すぎ 小杉レイ 様
月亭 町田店 様
東京ガスライフバル澤井(株) 澤井 宏行 様
(学)東京町田学園 井上 博行 様
(株)中野屋 杉浦 信男 様
日本堂(株) 前田 美津子 様
根岸 むつ代 様
Hana cha Café 小日向 庸三 様
馬場 昭乃 様
原町田七福会 大塚 信彰 様
百選印刷(株) 加藤 三津雄 様
(株)平野屋金物店 平本 勝哉 様
広瀬 啓友 様
武相新聞((有)町田タイムズ社) 山根 栄子 様
(一社)町田市観光コンベンション協会 様
(一財)町田市スポーツ協会 様
町田市農業協同組合 様
町田商工会議所 様
(株)グレースコーポレーション・ジャパン 中村 恵 様
まほろ座MACHIDA 中村 恵 様
マミフラワーデザインスクール 山口 美知子 様
(株)ミサワ商事 三澤 昌子 様
みんなの居場所陽だまりカフェ 安達 毅 様
(株)武藤興行 武藤 充 様
(株)レンブラントホテル東京町田 様
老舗 ひじかた園 土方 英子 様
和菓子 みのり庵のみ 高野美規 様
和菓子 明月堂 様
和光産業(株) 様
(株)和多屋 細野 敏雄 様

ご寄付・お祝い ご芳名

新井 吼優 様
池田 博一 様
井上 博行 様
五十子 白和 様
臼井 定義 様
江成 勝 様
大谷 光雄 様
大西 宣也 様
岡野 美紀子 様
川添 吟照 様
吉林 等 様

町田市文化協会
文化協会理事
(学)東京町田学園
町田市文化協会
町田茶道会
さくら建物(株)
町田演劇鑑賞会
町田市文化協会
(一社)WHAIS
町田市吟詠連盟
日本アルコール物流(株)

黒崎 聡史 様
鈴木 京泉 様
鈴木 螢梢 様
須山 庸泉 様
高野 宗佳 様
竹井 鶴迢 様
館山 宗春 様
谷山 良太 様
西村 雅仙 様
武藤 充 様
三竹 和行 様
和菓子 明月堂 様

司法書士法人黒崎事務所
町田華道協会
町田華道協会

町田茶道会
町田市吟詠連盟
町田茶道会
映像文化研究会
町田茶道会
(株)武藤興業
町田市文化協会

令和六年度

運営委員

1. 舞台部門

町田市吟詠連盟	竹井 鶴迢
町田市舞踊連合会	内海ろ之扇
町田市民謡協会	志賀 叶祥
NPO法人 町田楽友協会	土井 美智代
東京都町田市フラ協会	ピリアロハ石橋
ハワイ音楽とフラを楽しむ会	高橋 惣一
町田市シャンソン文化協会	斗南 良子
ナベ音楽協会	白橋 璃沙
町田Jazzを楽しむ会	Vocal Ridia(ボーカルリディア)
音楽の泉	斉藤恵津子
NPO法人 町田演劇鑑賞会	大谷 光雄
岩田マンドリーノ・シンフォニカ	高橋 豊
むさしのスペイン音楽協会町田支部	山崎 まや

2. 展示部門

町田華道協会	鈴木 螢梢
町田市書道連盟	宮本 博志
町田市人形文化連盟	松岡みゆき
町田市美術協会	岡島 節子
むかし袋の会	熊澤 初恵
(一社) WHAISワイズ	岡野美紀子

3. 文化部門

町田茶道会	高野 宗佳
町田市俳句連盟	三遊亭らん丈
町田市囲碁連盟	倉橋 幸二
映像文化研究会	谷山 良太

加入団体と会員数

1. 舞台部門 13団体

団体名	会員数
町田市吟詠連盟	190名
町田市舞踊連合会	250名
町田市民謡協会	216名
NPO法人 町田楽友協会	37名
東京都町田市フラ協会	150名
ハワイ音楽とフラを楽しむ会	77名
町田市シャンソン文化協会	30名
ナベ音楽協会	150名
町田Jazzを楽しむ会	11名
音楽の泉	38名
NPO法人 町田演劇鑑賞会	820名
岩田マンドリーノ・シンフォニカ	35名
むさしのスペイン音楽協会町田支部	300名
小 計	2,304名

2. 展示部門 6団体

団体名	会員数
町田華道協会	100名
町田市書道連盟	373名
町田市人形文化連盟	20名
町田市美術協会	133名
むかし袋の会	10名
(一社) WHAIS	45名
小 計	681名

3. 文芸部門 4団体

団体名	会員数
町田茶道会	150名
町田市俳句連盟	18名
町田市囲碁連盟	140名
映像文化研究会	50名
小 計	358名
合 計 (22団体)	3,343名

正 会 員

1. 舞台部門

町田市吟詠連盟

町田市舞踊連合会

町田市民謡協会

NPO法人 町田楽友協会

東京都町田市フラ協会

ハワイ音楽とフラを楽しむ会

町田市シャンソン文化協会

ナベ音楽協会

町田Jazzを楽しむ会
音楽の泉

NPO法人 町田演劇鑑賞会

岩田マンドリーノ・シンフォニカ
むさしのスペイン音楽協会 町田支部

竹井 鶴 迢
渡辺 千 楓
森内 紘 岳
伴 翠 之 扇
新玉 千 秀
大塚 瑠 麗
志賀 部 子
阿米 谷 俊
土井 美 代
土井 智 夫
菅 美 達
谷 マ ミ
石橋 隆 子
大野 悦 子
井上 邦 妙
藤原 子
安部 悠 子
高橋 保 一
佐藤 芳 裕
斗南 良 子
重南 裕 子
比 一 松 子
白橋 平 沙
刀 称 和 子
Vocal Ridia 子
斉藤 恵 津 子
篠子 庸 子
柳 谷 京 子
大坂 光 雄
熊坂 有 美
紫桃 弘 美
高橋 豊
崎川 ま 由 美

2. 展示部門

町田華道協会

町田市書道連盟

町田市人形文化連盟

町田市美術協会

むかし袋の会

(一社) WHAIS

3. 文芸部門

町田茶道会

町田市俳句連盟
町田市囲碁連盟

映像文化研究会

梢星華 葩草志 尋水草 子子子 一恵子 子子子 実子
螢緑陵 青麗博 千緋芳 けよ康節 友潤 初奈紀 昭麻枝
木村川 田島本 藤畑谷 岡みさ 小井島 瀬沢 澤美 野田三
鈴木 小飯福 宮齊 漆松 小大岡 加瀬 大熊 熊岡 久中 大川

佳春仙 陽美 定二 文
宗雅 仙宗 宗ら 幸 英良 勝宏
野山村 賀志 田亭 三倉 橋畑 倉山 林 春
高館 西有 鴨白 三倉 春網 谷小 今



私たちは **総合金融代理店** です
～町田で起業して40年を迎えます～

MDRT終身会員・TOT会員として、
日本全国 延べ4万人以上のお客様の
ご相談を解決に導いてきた
安心・信頼の実績があります。

相続診断士の資格も有しており、
近年ご相談の多い
「相続への対策」「家族信託」「資産運用」等
お金にまつわる 様々な不安やお悩みを
お聞かせください。



代表取締役 児玉 正浩



書店・Amazonにて
絶賛販売中!

今日の安心を未来につなげるために



株式会社 ベネフレックス
株式会社 オールライフ

〒194-0022 町田市森野1-34-10 第1矢沢ビル5階

group@alllife.co.jp

042-722-3861

HPはこちら



名誉会長・顧問

名誉会長	石阪 丈一	町田市長
常任顧問	大西 宣也	文化協会第6代会長
常任顧問	新井 吼優	文化協会第10代会長
顧問	五十子白和	元 町田華道協会会長
顧問	春畑 陸	前 町田市囲碁連盟会長
顧問	鷺北 秀樹	前 町田市文化・国際交流財団理事長
顧問	森 和秋	前 町田市文化・国際交流財団専務理事
顧問	三竹 和行	元 町田市美術協会会長

理事・監事

代表理事(会長)	高野 宗佳	町田茶道会会長
理事(副会長)	加瀬 友一	元 町田市美術協会会長
理事(副会長)	竹井 鶴迢	町田市吟詠連盟理事長
理事(副会長)	大谷 光雄	NPO法人 町田演劇鑑賞会会長
理事	舘山 宗春	町田茶道会
理事	岡野美紀子	(一社) WHAIS代表
理事	鈴木 京泉	元 町田華道協会副会長
理事	米谷 孝俊	町田市民謡協会
理事	石橋 國彦	東京都町田市フラ協会
理事	池田 博一	元 町田市文化・国際交流財団 市民ホール館長
理事	黒崎 聡史	司法書士
監事	平野 清	元 町田市市民部長
監事	齊藤 千尋	町田市書道連盟副会長兼事務局長



あとがき

移りゆく時代の流れの中で、私たちは、さまざまな人生上の邂逅により、生涯に渡って携わる“何か”を手にするようになります。それはいつの間にか心の糧として、また、豊かさを分かち合う手立てとして、日々、それを大切に持って歩くことになります。

令和6年、町田茶道会は創立60周年を迎え、記念茶会を行いました。市民美術展は開催50回を迎え、記念講演会と記念コンサートを行いました。たくさんの先達の皆様の弛みない努力と精進の賜としてある今日の姿を、あらためて見なおしたことと思われまします。今号では、特集として「この道を歩み始めたころ」をお二人の方にお寄せ頂きました。ベテランの方々の初めの一步の頃の初々しさが、次世代の人たちの心を広げる刺激になってくれることを願っています。令和7年も稽古、練習に楽しく励み、互いに手を携えて分かち合いを広め、時代を支える暖かい心を育て参りましょう。

小田急線から徒歩 1 分、横浜線から徒歩 2 分！

町田駅
直結

ギャラリー・パリオ

懇親会や展示会に最適！まちだの方は **まちだ割 10%OFF!!**

1 日 ¥13,860 / 1 時間 ¥2,970 (税込) から

※まちだ割適用料金



全面 82 m² / 25 坪

おかげさまで町田パリオは 50 周年！

PARIO

まちだのまちとひとのかけ橋に

TEL:042-725-3710

町田市森野 1-15-13



まほろ座

MACHIDA

10

YEARS

2015-2025

おかげさまで 10 周年！！

町田駅から徒歩 5 分 音楽と食事が楽しめる本格ライブレストラン

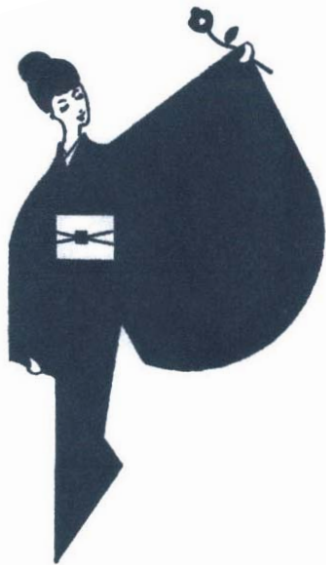
地元音楽サークルから有名アーティストまで

誰もがスターになれる特別な空間

パーティ利用、発表会などレンタル利用も大歓迎

まほろ座 MACHIDA ☎042-732-3021

きものお手入れ専門店



代表者 勝川由規

図師町2828-7

☎792-9041



machida.sado@gmail.com

会員募集中

町田茶道会

町田茶道会事務局
TEL:044-988-1757



mdc
Machida Design College



デザインと 文化の融合



学科 編成

- 建築専門課程
 - 【3年制】建築工学科
 - 【2年制】建築デザイン科
 - 【2年制】インテリアデザイン科
 - 【通信制】一級建築士受験科（通信教育過程）
 - 【通信制】二級建築士受験科（通信教育過程）
- デザイン専門課程
 - 【3年制】CGアニメーション科
 - 【3年制】グラフィックデザイン科
 - 【2年制】イラストレーション科
 - 【2年制】コミックイラスト・マンガ科



mdc
Machida Design College

学校法人東京町田学園

町田デザイン&建築専門学校

mdcは職業実践専門課程認定校！

〒194-0022 東京都町田市森野 1-26-8

☎ 0120-27-0204 Tel:042-726-0204 Fax:042-726-2851

✉ infonyugaku@mdc.ac.jp

LINE 公式アカウント 【@mdc_admission】



mdc

検索

公式HP: <http://www.mdc.ac.jp>



町田駅 小田急線徒歩3分/JR横浜線徒歩5分

— (一社)町田市文化協会 会報第33号 —

「町田の文化」

令和7年7月10日発行

発 行 一般社団法人 町田市文化協会
会長 高 野 宗 佳
電話／FAX 042-850-8422

編 集 大谷光雄・竹井敏夫・田所佳伸

印 刷 百選印刷株式会社
〒194-0013
東京都町田市原町田2-5-3
パールマンション106
電話 042-723-3597

(一社) 町田市文化協会ホームページをご利用下さい
<http://machida-bunkyo.com/>